感染症情報　7月22日～28日

府下小児科197医療機関（堺市19）から

①手足口病	1，468例（堺市	123例）
②感染性胃腸炎	621例（堺市	41例）
③溶連菌感染症	406例（堺市	52例）
④ヘルパンギーナ	255例（堺市	25例）
⑤RSウイルス感染症	216例（堺市	12例）

府下306医療機関（堺市29）から

インフルエンザ	138例（堺市	14例）

報告数による順位。前週比4．0％減の3，158件であった。手足口病が府下で8％減、堺市で前週・今回は同数であった。大阪府の定点当たりは8．08→7．45、堺市は6．47のままであった。今週は大阪府では2ブロックを除いて警報レベル開始基準値5を超えている。感染性胃腸炎が府下で前週から3例増、堺市で前週47例→今回41例。溶連菌感染症が府下で7％減、堺市で前週65例→今回52例。ヘルパンギーナが府下で13％減、堺市で31例→25例であった。RSウイルス感染症が府下で35％増、堺市で前週16例→今回12例であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が12週連続で10例を超えている。大阪府41→58例、堺市8→10例であった。

インフルエンザが府下で前週121例→今回138例で前週比14％増であった。堺市で前週15例→今回14例であった。

府下306医療機関（堺市29）から

新型コロナウイルス感染症　4，486例（堺市 591例）

大阪府定点　14．66　　堺市定点　20．38

大阪府の年齢層別の報告数

0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
192	358	304	616	393	383	402	552	381	498	407	4486

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回3，892例→今回4，486例で15％増、定点当たり12．72→14．66。堺市で前週428例→今回591例は38％増、定点当たり14．76→20．38で、大阪府のブロック別でまたワーストになった。

麻疹や風疹の報告なし。